

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-92	中学校	国語科	書写	1・2・3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 002-72	新編 新しい書写 一・二・三年		

## 1. 編修の基本方針

### 「書く力」が「私の力」になる。

中学校での学びが生涯続く学びを支えます。その学ぶ力を支える「書く力」。文字を書くとはどういうことか——デジタル時代に「手書き」する意味、楷書にとどまらず行書まで学ぶ意味、それらを考えるところから始めました。生徒が自分たちをとりまく文字文化の豊かさに気づき、自分なりの文字文化を築いてゆくきっかけとなる教科書を目指しました。



### 1

#### 中学生目線で手書きや行書の意味を考える。

——「せっかくきちんと書くことを学んだのに、どうして？」に答えたい。

手で文字を書く機会が少なくなっている中、デジタルネイティブの中学生には、手書きを学ぶ意味も、まして点画を省略したり連続したりする書き方を学ぶ意味も、分からないかもしれません。「どうして？」の答えをいっしょに見つけたいと考えました。

### 2

#### 行書の基本を、考えながら身につける。

——「なにかコツはあるの？」に答えたい。

行書は、動きが大切です。特徴的な動きを四つに類型化し、文字のなかにそれらがどう存在するかを示しました。おおよその文字に、四つの動きのどれかを見つけることができます。形だけにとられず、動きを意識して、行書の極意を学ぶ。流れるように書く楽しさを味わいましょう。

### 3

#### 書写の授業から、生活へ広げる。人生が広がる。

——社会に出てこそ、役立てたい。

「もっと書写を学んでおくべきだった。」——大人になってから思う人が多いようです。いつでも学べる書写ですが、三つ子の魂百まで。成長期に身につければ、人生に大いに役立つことでしょう。書くことを好きになって、世界を広げてほしいと願います。

# 中学生目線で手書きや行書の意味を考える。

— 「せっかくきちんと書くことを学んだのに、どうして？」に答えたい。

## 手書き文字再発見

- 教科書の巻頭に、手で書くことをめぐるさまざまな思いを共有するページを設けました。今まであたりまえのようにしてきた「書く」という行為を意識化します。

➡デジタル時代でも、「文字を書く機会はまだあるんだ」ということに気づき、これから身につける「書写の力」を発揮する場面を改めて知ることができる。



表紙裏 -p.1

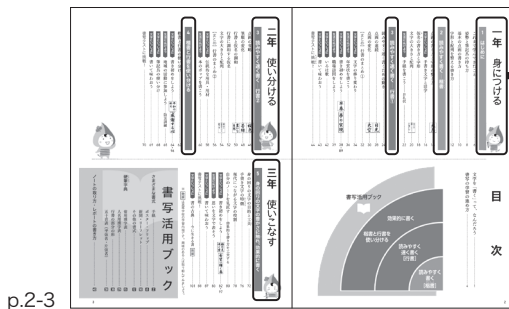


p.24-25

## 行書に出会う

- 中学生が「行書」の速さと読みやすさに出会うところから、行書学習が始まります。

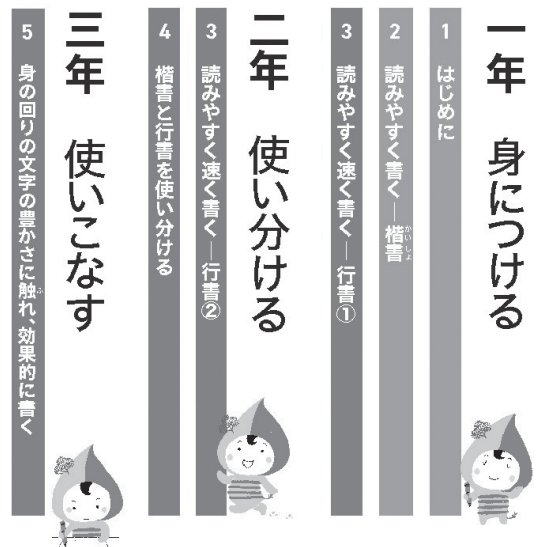
➡解決策として行書の存在を知る。  
➡楷書と行書の違いを学び、何を意識すると読みやすく速く書けるか理解する。



p.2-3

- 学年ごとに何を学ぶの分かりやすい構成です。

➡段階ごとの学びをイメージすることで、見通しを持って授業に臨むことができる。



# 行書の基本を、考えながら身につける。

— 「なにかコツはあるの？」に答えたい。

- 常用漢字のおおよそ9割の文字に、この四つの行書の動きのいずれかが含まれます。形の特徴だけを追うのではなく、動きを意識することによって、行書が分かってきます。

**行書の形の特徴**

- 点画のみみ
- 点画の連続
- 点画の美化
- 点画の省略
- 筆順の美化

日 日  
三 三  
光 光  
空 空  
化 化  
村 村  
結 結

**行書の動きのパターン**

多くの漢字には、次の四つの漢字に似た部分が含まれている。指てをみて、行書の動きのパターンを確かめよう。また、四つの動きのパターンを意識して、「東」を指て書いてみよう。

二の動き (ニ)    十の動き (十)    口の動き (口)    人の動き (人)

● 点画と点画のつながりを「筆脈」という。行書で書くときは筆脈を意識しよう。

● 筆脈が連続する文字は、筆脈が連続して書ける。

● 筆脈が連続しない文字は、筆脈が断れて書ける。

**3** 「動きのパターン」を組み合わせて、いろいろな文字を「行書で書く」ことができる。動きを確認しながら書いてみよう。

二の動き	十の動き	口の動き	人の動き
ニ	十	口	人
ニ	十	口	人

● 点画のつながりを「筆脈」という。行書で書くときは筆脈を意識しよう。

● 筆脈が連続する文字は、筆脈が連続して書ける。

● 筆脈が連続しない文字は、筆脈が断れて書ける。

形の特徴と動きの四つのパターン

p.26-27

- 行書の基本単元の紙面構成。学習過程は「書写のかぎ」を中心に展開しています。

- 1 見つけよう  
硬筆から課題発見
- 2 確かめよう  
毛筆で確認  
(朱墨の中に動きのパターン)
- 3 生かそう  
硬筆でほかの文字に生かす

**2** 点画の連続

● 行書の点画は、ひとつひとつに連続している。また、なぞ書をするのと同じように、筆脈が連続する。

● 筆脈が連続する文字は、筆脈が連続して書ける。

● 筆脈が連続しない文字は、筆脈が断れて書ける。

● 筆脈が連続する文字は、筆脈が連続して書ける。

● 筆脈が連続しない文字は、筆脈が断れて書ける。

● 筆脈が連続する文字は、筆脈が連続して書ける。

● 筆脈が連続しない文字は、筆脈が断れて書ける。

● 筆脈が連続する文字は、筆脈が連続して書ける。

● 筆脈が連続しない文字は、筆脈が断れて書ける。

**書写のかぎ**

● 書写のかぎ

● 点画の連続

● 行書では、速く滑らかな動きで書くために、点画が連続することがある。

① 筆脈の実線化 筆脈が実線になって連続する。

② 直接連続 点画の終筆と次の点画の始筆がつながる。

● 学習のポイントをまとめています。キーワードは太字で示しました。

p.28-29

# 書写の授業から、生活へ広げる。人生が広がる。

— 社会に出てこそ、役立てたい。



## 生活に広げよう

「生活に広げよう」では、さまざまな書式とそれらを生かす場面について学びます。

計6単元

- 1年 ・手紙を書こう—お礼状  
・年賀状を書こう  
・職場訪問をしよう
- 2年 ・本のポップを書こう  
・地域の活動に参加しよう—防災訓練
- 3年 ・思いを文字で表そう

1 訪問先へ依頼をする

2 職場訪問をする

3 訪問先にお礼を伝える

4 学習した内容を報告する

「生活に広げよう」

職場訪問をする

職場訪問をしよう

訪問先にお礼を伝える

学習した内容を報告する

1年

p.39

p.40-41

「書写活用ブック」で  
確かめよう

- 手紙 2ページ
- 封筒 4ページ
- 硬筆字典 15ページ

「生活に広げよう」と巻末「書写活用ブック」は、連携が図られており、本文を補完する例や注意点を確認することができます。



## 書写活用ブック

授業を離れても、「書写活用ブック」を開いて、さまざまな書式の詳細を参照することができます。

全41ページ

書写活用ブック

効果的に書く

楷書と行書を使い分ける

読みやすく速く書く【行書】

読みやすく書く【楷書】

1

36

4

2

手紙

挨拶

新緑の候、栃木自然資料館の皆様にはお元気で  
お過ごしのことと存じます。  
さて、先日訪問をさせていただきました貴館で取り  
組まれている、外国人観光客への環境作りにつきまして、  
ご親切にお答えいただきありがとうございます。また、特に、  
多言語に対応した案内表示の整備については大変喜ばせて  
いただきました。

下野市緑七丁目十八-13  
栃木自然資料館 御中

足利市栄町五丁目四  
第1中学 水野 浩

329-0433

七月二日

山形市川西町 6-17  
久保田美華様

行書の部分の形

言	糸	日	禾	木
記	紙	明	秋	板
議	約	曜	科	校
金	才	行	イ	シ
鉄	技	律	作	治
針	持	仁	仁	浅
月	王	足	複	社
限	理	跡	被	祝
際	球	踊		
女	引	耳	小	才
始	張	職	性	独
婦		聴	快	粗

1

36

4

2



## 2. 対照表

学年	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所(頁)
全	文字を「書く」って、なんだろう 書写の学習の進め方	・学習のはじめに、文字を書くこと自体に対する思いやその使用場面を想起させることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培いつつ、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮した。(第二号・第三号・第五号) ・学習過程を明確にし、見通しを持って学習を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養うよう配慮した。(第二号)	表紙裏 -p.1 p.4
全	教材文字	・教材文字は、道徳心、自主・自律の精神、自他の敬愛、生命の尊重、環境保全などを重んずる態度を育めるような語彙を選定した。(第一号～第四号)	全般
全	イラスト・写真	・イラスト・写真における男女の人数や役割、生徒作品例の名前などは、男女の平等に配慮した。(第三号)	全般
一 年	1 はじめに	・生徒の健康管理の観点から、身体に負担の少ない姿勢・執筆法を重視し、写真に解説を加えて分かりやすく示した。(第一号) ・小学校での学習を振り返ることで、中学校での学習の基盤作りと学習習慣の形成に寄与している。また、生徒が自分の姿勢や執筆法、書く文字を見直すことから中学校の学びをスタートする構成とし、個人の価値を尊重してその能力を伸ばすことを意識できるようにした。(第二号)	p.6-13
	2 読みやすく書く一楷書	・場面に応じて楷書で書くための基本的な知識・技能を習得できる構成として、幅広い知識と教養を身につけられるようにした。(第一号)	p.14-15、 p.18-21
	3 読みやすく速く書く一行書①	・行書の基本的な知識・技能を確実に習得できる構成として、幅広い知識と教養を身につけられるようにした。(第一号)	p.24-33
二 年	生活に広げよう	・お礼状を書くことを題材にして、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うよう配慮した。(第三号) ・伝統的な文字文化である年賀状を題材にして、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮した。(第五号) ・職場訪問を題材にして、勤労を重んずる態度を養い、社会への参画意識を高めるよう工夫した。(第二号・第三号)	p.22-23 p.36-37 p.39-41
	3 読みやすく速く書く一行書②	・行書の基本的な知識・技能を確実に習得できる構成として、幅広い知識と教養を身につけられるようにした。(第一号)	p.46-57
	4 楷書と行書を使い分ける	・場面に応じた書体の使い分けを学習することで、書写学習と生活との関連を重視する態度を養うよう工夫した。(第二号)	p.62-63
三 年	生活に広げよう	・本のポップを書く活動を通して、創造性を培い、書写学習と生活との関連を重視する態度を養うよう工夫した。(第二号) ・地域社会で行われる防災訓練を題材にして、主体的に社会の形成に参画する態度を養うよう配慮した。(第三号)	p.60-61 p.65-67
	5 身の回りの文字の豊かさに 触れ、効果的に書く	・身の回りのさまざまな文字の目的や特徴、そこに込められた書き手の意図などを考え、自らも表現する学習を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主・自律の精神を養うよう配慮した。(第二号)	p.72-81
全	生活に広げよう	・卒業を間近に控えた生徒の思いを、文字を使った作品で表現する活動を通して、個人の価値や表現を尊重する態度を養い、他者と協力することの価値にも気づけるよう工夫した。(第二号・第三号)	p.83-86
	文字といっしょに	・手書き文字と活字の違いについて取り上げ、幅広い知識と教養を身につける態度を養うよう工夫した。(第一号) ・漢字や仮名の成り立ちや、平仮名の学習と関連づけた「いろは歌」を取り上げ、我が国の伝統と文化および他国の文化を尊重する態度を養うよう配慮した。(第五号) ・伝統的な製法で用具・用材を作り続けている生産地を取り上げて、伝統産業への興味・関心を高め、我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮した。(第五号) ・筆記具の使い分けについて取り上げ、幅広い知識と教養を身につける態度を養うよう工夫した。(第一号) ・書き初めの題材を複数挙げて、生徒自身の思いや課題意識に応じて選択できるようにし、個人の価値を尊重し創造性を培うよう工夫した。また、伝統文化の継承を意識できるように配慮した。(第二号・第五号) ・現代国語や古典の名文を書いて味わう活動によって、書写の学びを確かめながら豊かな情操を養えるよう工夫した。(第一号) ・日本と中国の古典の書を掲載し、我が国の伝統と文化および他国の文化を尊重する態度を養うよう配慮した。(第五号)	p.16-17 p.34-35、p.42 p.58-59 p.68 p.38、p.64 p.82、p.89-100 p.43、p.69、p.87 p.101-104
全	書写テストに挑戦!	・各学年末にテストを位置づけることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うよう配慮した。(第一号)	p.44、p.70、p.88
全	書写活用ブック	・学校生活だけでなく生涯にわたって社会生活の中で使用されるさまざまな書式について学ぶことで、社会形成に参画する意識が高まるよう工夫した。(第三号)	書写活用ブック p. 1 - 41

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 特別支援への配慮： 特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ページにわたって検証を行っています。
- 人権上の配慮： 作例や写真・イラストなどに登場する人物は、性別による役割の固定化や人数の偏りが無いよう配慮しました。
- 色覚特性への配慮： 色覚の多様性に配慮し、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。
- 左利きへの対応： 左利きの生徒の学習しやすさを考慮して、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置し、利き手によらず教材文字が見やすいよう工夫しています。
- GIGA スクール 構想の推進： 各単元に二次元コードを付して、学習に役立つデジタルコンテンツを提供しています。机上に端末と並べても無理のない判型にしています。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-92	中学校	国語科	書写	1・2・3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 002-72	新編 新しい書写 一・二・三年		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

# 1

## 書写テストに挑戦!

— 「書くだけ」ではない学びを。

- 文字を整えて書くには、知識もだいじ。毎学年末にある「書写テスト」を活用して、学びをテスト形式で振り返ることができます。

一年生

p.44

**5** 次の行書で書かれた漢字を楷書で書いと  
き、総画数が同じになるものを選びなさい。

理 厚 宙 愛 祭

ア. イ. ウ. エ. オ.

三年生

p.70

二年生

p.88

- 小学校の振り返りのページや「行書のまとめ」のページを設け、学びの定着を図っています。

要点をわかりやすくまとめました。学びを系統的に確認できます。



p.12

p.32

p.56





# 3

## 確実に学習を支えるデジタルコンテンツ

— 学びをさらに立体的に。

- 「用具の準備・かたづけ」動画が、授業の流れをスムーズにします。



- 運筆動画を繰り返し見ることで、自分で書く際のイメージをしっかりと持つことができます。

① ナレーションが充実。音声を聞きながら、半紙に集中して書くことができます。

② テロップも充実させました。押さえるべきポイントを端的に明示しました。



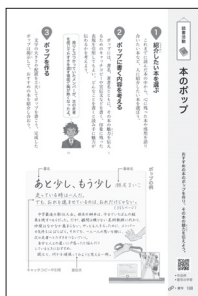
③ 任意の場面から再生できます。

④ ループ再生で、繰り返し見ることが容易です。

- 書写テストもデジタルに。楽しく学べます。



- 関連する他教科の紙面も参照することで、学びが広がります。



- 書写活用ブックでは、教科書紙面とは別の例を掲載しています。



# 4

## 今日的課題：SDGsに対応した題材

— 今を生きる教科書として、大切にしたこと。

課題	題材	SDGs
人権・福祉	地域のバリアフリーへの取り組みを発表するポスター 書写活用ブック p. 8	③すべての人に健康と福祉を
キャリア教育	「職場訪問をしよう」 p.39-41	④質の高い教育をみんなに
環境	エネルギーに関する新聞 書写活用ブック p. 10	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに
情報活用	インターネット活用に関するリーフレット 書写活用ブック p. 11	⑨産業と技術の基盤をつくる
防災・安全	「地域の活動に参加する——防災訓練」 p.65-67	⑪住み続けられるまちづくりを



# 教科書の特徴

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書写学習を通して、幅広い知識と教養を身につけるとともに、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神を養えるよう編修している。</li> <li>●文字文化コラム「文字といっしょに」(p.16-17、p.34-35 ほか)を中心に、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮している。</li> </ul>
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、ねらいを達成できるよう、単元を組織・配列している。</li> <li>●言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する知識・技能を習得し、文字を正しく整えるための思考力、判断力、表現力等を育成するよう編修している。また、文字文化の担い手として継承・発展させる態度を養うよう工夫している。</li> </ul>
学びの系統性・連続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるように工夫している。</li> <li>●単元ごとに原則として一つの「書写のかぎ」を置き、学習内容を端的に示した単元名や目標を明示することで、学習のねらいを明確化・焦点化している。</li> </ul>
資質・能力の育成	<p>①知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●書写で学ぶ知識及び技能を「書写のかぎ」として系統的に整理し、各単元に配置した。</li> <li>●小学校の学習事項を「これまで学んできたこと」(p.6-7)で確認し、中学校での学習の基盤を確かなものになっている。</li> </ul> <p>②思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基本単元では、「見つけよう」や「生かそう」などで、文字から「書写のかぎ」を見つけ出したり「書写のかぎ」をほかの文字に応用したりする中で、思考力、判断力、表現力を働かせるようにしている。</li> <li>●活用単元「生活に広げよう」では、基本単元で身につけた「書写のかぎ」を国語や他教科の学習、生活の中で活用する。場面に応じて何をどのように生かすのか、思考力、判断力、表現力を働かせるようにしている。</li> </ul> <p>③学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●巻頭の「文字を「書く」って、なんだらう」(表紙裏-p.1)で、書写学習の意義や何ができるようになるのかを知ることで、学習の見通しを持ち、自分の文字をよりよくしていこうとする態度を育成するよう工夫している。</li> <li>●写真図版を多く取り入れ、キャラクターやイラストによる導入などを用いて、意欲的に取り組むための工夫をしている。</li> </ul>
教材の程度・分量、教材文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学年の配当時数に照らして適切な単元数、分量で、硬筆と毛筆の学習ができるようにしている。</li> <li>●硬筆文字・毛筆文字ともに、学びやすさを考慮した簡明な筆使いとしている。書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆している。単元の学習事項に適した字形の文字であり、かつ、内容価値のある語彙を選んでいる。</li> <li>●図解やイラスト、写真、朱墨文字などを取り入れて、内容理解の助けとなるよう工夫している。</li> </ul>
硬筆・毛筆指導の関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元は、①硬筆文字から「書写のかぎ」を発見し課題を共有する → ②毛筆で大きく書くことで確認する → ③硬筆でほかの文字を書くことで定着を図る という展開で、毛筆を使用する学習が硬筆で書く力の基礎となるように構成している。</li> <li>●毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し適切な順で単元を配列することで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。</li> </ul>
2・3学期制への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元の配列及び時間配当は、3学期制、2学期制のいずれにも対応できるよう配慮している。</li> </ul>
国語や他教科との関連 カリキュラム・マネジメントへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「生活に広げよう」において、生活に活用できる書写力の育成を促している。また、国語や他教科で扱われる言語活動や題材を使って教材化しているので、関連付けたり合理的に扱ったりすることで効果的な指導ができる。</li> <li>●国語や他教科の学習と連動している単元・教材には、 (教科関連マーク)をつけて意識づけを図っている。(p.22-23、p.43、活用p.2 ほか)</li> </ul>
授業支援と教員の負担軽減への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●何を学ぶか(「書写のかぎ」)、どのように学ぶか(「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」の学習過程)ということを確認かつ丁寧に示していて、無理なく指導ができる。</li> <li>●教科書上の二次元コードやURLからインターネットを活用して、教材文字の運筆動画を見ることができるので、プロジェクトで繰り返し投影しながら机間指導を行うなど、授業の効率化に役立つよう工夫している。</li> </ul>
小・中・高の円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年生に「これまで学んできたこと」(p.6-7)を設け、小学校書写との円滑な接続を図った。小学校書写の学習内容をチェックしながら、知識・技能の定着を確認できる構成とした。</li> <li>●高等学校芸術科書道への接続として、書道で扱う古典作品の美しい写真を掲載し、書道を学ぶ高校生の活動などを紹介して、興味・関心を高めるよう工夫した。(p.101-104)</li> </ul>
GIGA スクール構想の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各単元に二次元コードを付して、学習に役立つデジタルコンテンツを提供している。インターネットを使って、毛筆教材文字の運筆動画などを見ることができる。家庭学習や個に応じた指導にも対応できる。</li> <li>●制度化された学習者用デジタル教科書の発行を予定している。</li> </ul>
特別支援教育やユニバーサルデザイン(左利き、色覚特性など)への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文意を理解しやすいように、原則として文節で改行している。</li> <li>●学習の流れや情報の軽重が分かりやすいレイアウトにし、イラストやキャラクターに使う色の数や分量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮している。</li> <li>●左利きの生徒の学習しやすさを考慮して、原則として教材文字を上、書き込み欄を下に配置し、利き手によらず教材文字が見やすいよう工夫している。</li> <li>●振り仮名などの小さい文字でも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>●色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて検証を行っている。</li> <li>●教科書と同じ内容の拡大教科書の発行を予定している。</li> </ul>
人権上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作例や写真・イラストなどに登場する人物について、性別による役割の固定化や人数の偏りがないように配慮している。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現をしている。表記や用語は統一した基準を設けている。</li> </ul>
文字・印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文書体は、小学校教科書で使用している教科書体に筆遣いや字形を合わせた、特別な明朝体を開発・使用している。</li> <li>●書き込み欄は充実したままに、毛筆の道具・教科書・端末を並べて学習しても無理のないサイズにしている。</li> <li>●毛筆教材文字のページは半紙の縦横比率に合わせてあり、半紙での配列の参考になる。</li> <li>●硬筆文字や毛筆文字は、印刷の濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっている。印刷は鮮明で正確である。</li> <li>●用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用している。</li> <li>●製本は堅牢で、長期使用に耐えられる。表紙は耐久性を高める加工をしている。</li> <li>●環境に配慮し、再生紙や植物油インキを使用している。</li> </ul>

## 2. 対照表

学年	図書の構成・内容	該当箇所	学習指導要領の内容 〔知識及び技能〕	時数	学期別配当				
					3学期制	2学期制			
	文字を「書く」って、なんだろう	表紙裏 - p.1		適宜					
	書写の学習の進め方	p. 4		適宜					
一年 (20時間)	1 はじめに	これまで学んできたこと	p. 6 - 7	(3) エ (ア)	1	7	9		
		姿勢と筆記具の持ち方	p. 8 - 9						
		基本の点画の書き方	p. 10 - 11						
		字形と配列を整える書き方	p. 12 - 13						
	2 読みやすく書く 一楷書	点画の書き方と字形の整え方	p. 14 - 15	(3) エ (ア)	2				
		【文字といっしょに】手書き文字と活字	p. 16 - 17	(3) エ (ア)	適宜				
		仮名の書き方と字形	p. 18 - 19	(3) エ (ア)	1				
		文字の大きさと配列	p. 20 - 21	(3) エ (ア)	2				
		【生活に広げよう】手紙を書こう——お礼状	p. 22 - 23	(3) エ (ア)	1				
	3 読みやすく速く書く 一行書①	読みやすく速く書くための動き	p. 24 - 27	(3) エ (イ)	2			10	11
		点画の連続	p. 28 - 29	(3) エ (イ)	3				
		点画の変化	p. 30 - 31	(3) エ (イ)	3				
		行書のまとめ①	p. 32 - 33	(3) エ (イ)	適宜				
		【文字といっしょに】文字の移り変わり	p. 34 - 35	(3) エ (ア)・(イ)	適宜				
		【生活に広げよう】年賀状を書こう	p. 36 - 37	(3) エ (イ)	1				
【文字といっしょに】書き初めをしよう		p.38、89-92	(3) エ (ア)・(イ)	1					
【生活に広げよう】職場訪問をしよう		p. 39 - 41	(3) エ (ア)・(イ)	3					
【文字といっしょに】いろは歌		p. 42	(3) エ (ア)	適宜					
【文字といっしょに】書いて味わおう		p. 43	(3) エ (ア)・(イ)	適宜					
書写テストに挑戦!	p. 44	(3) エ (ア)・(イ)	適宜	3					
二年 (20時間)	3 読みやすく速く書く 一行書②	点画の省略	p. 46 - 47	(3) ウ (ア)	3	8	10		
		筆順の変化	p. 48 - 49	(3) ウ (ア)	3				
		行書と仮名の調和	p. 50 - 51	(3) ウ (ア)	2				
		行書に調和する仮名	p. 52 - 53	(3) ウ (ア)	2				
		文字の大きさと配列	p. 54 - 55	(3) ウ (ア)	3				
		行書のまとめ②	p. 56 - 57	(3) ウ (ア)	適宜				
		【文字といっしょに】伝統的な用具・用材	p. 58 - 59	(3) ウ (ア)・(イ)	適宜				
		【生活に広げよう】本のポップを書こう	p. 60 - 61	(3) ウ (ア)・(イ)	2				
	4 楷書と行書を 使い分ける	楷書と行書の使い分け	p. 62 - 63	(3) ウ (イ)	1	9	10		
		【文字といっしょに】書き初めをしよう	p.64、93-96	(3) ウ (ア)	1				
		【生活に広げよう】地域の活動に参加しよう ——防災訓練	p. 65 - 67	(3) ウ (ア)・(イ)	3				
		【文字といっしょに】筆記具の使い分け	p. 68	(3) ウ (イ)	適宜				
		【文字といっしょに】書いて味わおう	p. 69	(3) ウ (ア)・(イ)	適宜				
		書写テストに挑戦!	p. 70	(3) ウ (ア)・(イ)	適宜			3	
三年 (10時間)	5 身の回りの文字の 豊かさに触れ、 効果的に書く	身の回りの文字の目的と工夫	p. 72 - 75	(3) エ (ア)	2	4	4		
		手書き文字の特徴	p. 76 - 77	(3) エ (ア)	2				
		現代につながる文字の役割	p. 78 - 79	(3) エ (ア)	1				
		自分のノートを見直す ——効果的な書き方を工夫する	p. 80 - 81	(3) エ (ア)	1				
		【文字といっしょに】書き初めをしよう	p.82、97-100	(3) エ (ア)	2				
		【生活に広げよう】思いを文字で表そう	p. 83 - 86	(3) エ (ア)	2				
		【文字といっしょに】書いて味わおう	p. 87	(3) エ (ア)	適宜				
		書写テストに挑戦!	p. 88	(3) エ (ア)	適宜			2	
		【文字といっしょに】書の古典 ——今に生きる書	p. 101 - 104		適宜				
書写活用ブック	さまざまな書式	p. 2 - 14		適宜					
	硬筆字典	p. 15 - 39		適宜					
	ノートの取り方・レポートの書き方	p. 40 - 41		適宜					

# 編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-92	中学校	国語科	書写	1・2・3年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	書写 002-72	新編 新しい書写 一・二・三年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
p.101 ～ 104	書の古典——今に生きる書 [発展]	1	高等学校芸術科学習指導要領 [書道 I] 3 内容 B 鑑賞 (1) ア (ア) 作品の価値とその根拠 イ (ア) 線質、字形、構成等の要素と表現 効果や風趣との関わり (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統 と文化	
			合計	4

「類型」欄の分類について

- 1：学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2：学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容